

【乳牛ふん堆肥のペレット化】（滋賀県甲賀市 有限会社成田牧場）

- (有)成田牧場は、乳用牛160頭、肉用牛120頭、約280頭規模の乳肉複合経営で、年間約2,000tのふん尿が発生しており、密閉型強制発酵装置（縦型コンポスト）と堆積型発酵により堆肥化処理を行い、年間約1,500tの堆肥を製造。
- 甲賀市内の耕種農家2戸から稲WCS約250ロール、コーンサイレージ約50ロールを購入しており、甲南町堆肥利用組合の構成員として同圃場への堆肥散布を実施。
- 縦型コンポストで堆肥化したものは水分25%前後の粉状のため、マニュアルスプレッダーで散布した際に粉塵が飛散するなどの苦情が入ってしまう一方で、やや水分高めの堆積型発酵堆肥を散布した場合には、臭いに関する苦情が入るなど、混住地域における堆肥利用が課題に。
- 令和7年度国内肥料資源利用拡大事業（6補正）を活用し、ペレット製造に係る機械設備を令和8年2月に導入。自家消費していた年間約600tについて、ペレット堆肥を製造し、甲賀市及び伊賀市の圃場約200haでの利用拡大を目指す。
- ペレット化することで、耕種農家がコンポキャスター等で散布することが可能となるほか、散布ロスの減少、散布時の粉塵飛散や臭気の問題解決に期待。

●ペレット堆肥の製造工程



ペレット堆肥まきひこくん
窒素(1.5%)、りん酸(1.1%)、加里(2.9%)

●甲賀市における稲WCS作付面積の推移

稲WCS 作付面積	R5年度	R6年度	R7年度
甲賀市	42ha	46ha	44ha

戦略作物等の地域再生協議会別の作付状況（各年9月15日時点）